

新年のごあいさつ

美波町長 影 治 信 良



新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は町政の推進に対し深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年の世相を表す漢字「災」に表されるように、昨年六月の大阪府北部地震をはじめ、七月豪雨、八月は猛暑と度重なる台風の襲来、そして九月には北海道胆振東部地震と日本国内で災害が数多く発生した年でありました。本町においても、二度の台風上陸や接近により家屋の損傷をはじめ、農業施設・水産業施設の被害、そして長時間に及ぶ停電など町民の生活に影響を受けたところがあります。

被災された皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。昨年は印象深い出来事がありました。思いもかけない皇太子殿下のご訪問。これは皇太子殿下がライフワークにされている水問題の研究の一環として、地震津波碑等のご視察のための私的な行啓で本町の震災碑である貞治の碑や康暦の碑をご覧になられました。

皇太子殿下は、平成二十九年十二月に米ニューヨークの国連本部で開かれた「水と災害に関する特別会合」のビデオによる基調講演の中で「康暦の碑」に触れながら、水と災害に関して歴史から学ぶ意義について述べられています。私たちも歴史の中に教訓を見いだし、災害は「いつ」「どこで」発生してもおかしくない身近な問題であると捉え、防災意識を高めていきたいと思えます。

また、美波町出身の映画監督明石知幸さん、映像監督赤川修也さんがタッグを組み、美波町を舞台に地方創生をテーマにした映画「波乗りオフィスへようこそ」が完成し、今春から劇場で上映される運びとなりました。

町内でロケが行われるのは、十年前のNHK朝の連続テレビ小説「ウエルかめ」以来のことです、五月から始まっ

たロケでのお接待やエキストラ役など、地域を挙げてご支援をいただきました町民の皆さまをはじめ、徳島県、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

少子高齢化・人口減少が進む本町にとりまして、地域活性化のまたとない好機でありますので、上映の効果を一過性に終わらせることなく、全国にしっかりと発信していきたいと考えているところであります。

昨年十二月に「人口減少が進んでもにぎやかな町であり続けるために」という思いを込めて「にぎやかそ」というまちづくりのキャッチフレーズ・ロゴを策定し、美波町新まちづくり宣言として発表を行いました。

「にぎやかそ」は「にぎやか」と「過疎」を掛け合わせた造語であります。町民の方々、町に住んでいなくても美波町を訪れた方、ふるさと納税で応援して下さる方、「美波町」に興味を持ちネット検索してくれた方、全ての方が美波町に関係する方々で、この関係人口を二〇〇人、二〇〇人と増やしていくことが町の活性化につながってまいります。今後、町民、町、職員共通のビジョンとして育てていきたいと思えます。

さて本年は、天皇陛下の退位、皇太子殿下の即位と元号の改元など歴史の節目の年となります。新たな時代の幕開けの年を美波町の第二ステージへのスタートの年と位置づけ、これまで進めてまいりました一つ一つの歩みを更に前進・加速させ、町民の皆様「住んでよかったです」と実感できるまちを創りあげていくため、本年も世界情勢や国・県の動向を注視しながら、町民の皆様のご期待に応えるべく、知恵を絞り工夫をこらして、職員一丸となつて力を合わせて取り組んでいく所存でありますので、本年もどうか温かいご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに本年が皆様にとりまして、幸多い年となりますことを心から祈念申し上げます、新春のご挨拶といたします。